

(様式2)新規評価シート

建設部 砂防課

事業名		砂防(火山砂防)		路河川名等		(砂)茂沢川													
事業毎の通番		1		市町村名		軽井沢町													
				箇所名(ふりがな)		茂沢(もざわ)													
事業概要	事業目的	茂沢川は、一級河川発地川へ流れ込む土石流危険渓流であり、斜面の荒廃により大雨時における土砂流出が懸念されている。このことから、土砂災害防止のための砂防堰堤を施工することにより、下流域の人家34戸、地域防災計画における避難所である茂沢公民館、要配慮者利用施設である茂沢児童遊園、町の緊急輸送路となっている県道豊昇茂沢中軽井沢停車場線などの保全を図る。																	
	しあわせ信州創造プランにおける位置付け	4-1地域防災力の向上(災害に強い地域づくり)		事業実施の根拠法令等		砂防法													
	関連する事業、計画等	-																	
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	人家34戸、茂沢公民館(地域防災計画における避難所)、茂沢児童遊園(要配慮者利用施設)、県道豊昇茂沢中軽井沢停車場線(町の緊急輸送路)																	
	着手年度	H29		事業期間		4年													
	完成年度(見込み)	H32		費用対効果		14.3													
	全体事業内容(主な工種)	砂防堰堤工 1基		事業費(千円)		<table border="1"> <tr> <th colspan="4">財源内訳(千円)</th> </tr> <tr> <td>国庫</td> <td>110,000</td> <td>その他</td> <td></td> </tr> <tr> <td>県債</td> <td>81,000</td> <td>一般財源</td> <td>9,000</td> </tr> </table>		財源内訳(千円)				国庫	110,000	その他		県債	81,000	一般財源	9,000
	財源内訳(千円)																		
	国庫	110,000	その他																
	県債	81,000	一般財源	9,000															
年度事業内容(主な工種)	測量・調査・設計		20,000		11,000														
事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	人家34戸、避難所、要配慮者利用施設、県道(町緊急輸送路)、村道を保全																	
	間接的効果(定量的・定性的)																		
評価の視点	必要性	【保全人家戸数】:34戸 【保全公共施設】:県道、町道 【要配慮者利用施設】:茂沢児童遊園 【避難場所、避難路】:茂沢公民館及び町の緊急輸送路					評価												
							A												
	重要性	【災害履歴】:平成13年 【交通影響】:県道 【位置付け】:地域防災計画上の位置付けあり(町緊急輸送路(県道))、土石流危険渓流 I					評価												
							A												
	効率性	【費用対効果】:B/C=14.3 【早期効果発現】:事業期間 4年 【工法等比較検討】:砂防計画策定時に検討を実施 【総合調整】:治山事業と調整中					評価												
							A												
緊急性	【地形地質】:火山噴出物 【流域植生】:倒木が多数 【平均河床勾配・土砂整備率】:14° 整備率:0% 【危険地区】:土砂災害防止法に基づく土砂災害特別警戒区域あり					評価													
						A													
計画熟度	【情報共有】:関係者を中心に周知 【地域要望】:町から要望あり 【合意形成】:事業目的について合意形成がなされている 【住民参加】:現時点では関与は低い					評価													
						B													
部意見	当該渓流の保全対象には地域防災計画に位置づけられている避難所や緊急輸送路が立地しているため、速やかな土砂災害対策が必要である。	行政改革課意見	流域内には不安定土砂が堆積し、今後の降雨等により土砂流出の恐れがあり、保全対象に人家、県道、避難所があることから、必要性、重要性、緊急性が認められる。	評価結果	○	総合評価	A												

【位置図、平面図、構造図等】(縮尺任意)

位置図



全体計画図



【整備の必要性がわかる状況写真等】

茂沢公民館(避難所)



茂沢児童遊園(要配慮者利用施設)



荒廃状況写真(茂沢川)



事業概要説明図表

事業周辺環境

①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	平成27年に土砂災害防止法の警戒区域、特別警戒区域に指定され、土砂災害のおそれがあることが周知され、ハード対策の要望が強出された。要配慮者利用施設におけるハード対策が急務であることから、事業を計画することとなった。
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	土砂災害警戒区域内に避難所、緊急輸送路、要配慮者利用施設が存在することから、軽井沢町から要望される
③事業説明等の経緯	事業実施が確定次第、地元説明会を開催予定
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	土砂災害防止法に基づくソフト対策の取り組み
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	今後周辺環境への影響を抑えることを念頭に砂防施設の設計を進める予定
⑥地域活性化への影響と配慮	砂防事業により、地域住民の安全・安心を確保するとともに、災害のないまちづくりを推進し、地域の活性化を図る。
⑦その他	砂防指定地申請予定

事業代表地点の緯度経度  
北緯:N 36-18-46.46  
東経:E 138-33-49.65